

夏休み期間中に PTA と進路の合同研修が行われました。コロナ以前に行っていた福祉サービス事業所見学を再会することができました。今回は、生活介護&入所事業を行っている「名護学院」と、就労継続支援 B 型事業所の「us plus」を見学しました。その時の様子をお知らせしたいと思います。

「社会福祉法人 名護学院」 (名護市為又1015-1)

名護学院はとて多くの事業を展開しています。詳しくはホームページの事業所紹介をご覧ください。今回見学させていただいたのは、入所支援事業・生活介護事業・短期入所事業を展開している「郷(ごう)」「睦(むつ)」の2つの施設です。

「郷」の定員は40名で、男性と女性で生活のエリアが分かれています。寝室は個室がありますが日中は共有スペースに集まりみんなで会話をしたりリハビリをしたりして過ごしています。利用者の年齢は20代~70代まで様々で、女性17名男性22名の39名が利用中ということでした。スタッフは女性の方のエリアで5~6名と看護師が1名、入浴は1日おきで必要な方には毎日の入浴を行っているそうです。「睦」では、チャレンジ班、リハビリ班、創作陶芸班、園芸班の4つのグループに分かれて、それぞれのやりたい活動に取り組んでいました。チャレンジ班は外出も多くいずれは地域生活への移行を目指す方達だそうです。週1回、どこかの班がドライブに出かけるなど外出の多いグループでした。施設長の方は、「睦は生活する場所なので、日中は場所を変える事を意識しています。アクティブに活動する方の在籍が多いですね。」と話していました。今回見学できなかった「里(さと)」には高齢者が多く医療的ケアにも対応しているそうです。看護師は4名いるそうです。短期入所は1名の受け入れを行っていて、本校卒業生も家庭の事情で2週間ほど短期入所を利用したことがあるそうです。

広い敷地に3つの入所施設と2つの日中デイの施設、管理事務所、活動棟、陶芸施設などとても充実した施設でした。



「就労継続支援B型事業所 us plus(アスプラス)」 (名護市大南2-14-9)

高等部の就業体験実習でよくお世話になっているアスプラスさんですが、直接見る機会があるのは実習に行く生徒の保護者だけでした。今回は、B型事業所として就労の場を見せていただきました。やきいもの製造販売を行っているアスプラスですが、取り扱うイモの種類は3種類で少しずつ特徴が異なります。主な作業内容はイモを箱に移す、新聞紙でくるむ、洗う、切る、箱をふく、袋のラベル貼り、袋づめ、出張販売などとなっています。利用登録をしている方は20名ほどいますが、1日の平均利用者は12~14名となっています。印象的だったのは、「工賃は、利用者さんのできる事の難易度や種類できめていません。本人がどの様にアスプラスで過ごして充実した生活や人生を送りたいのか、そのために自分ができる100%を出せているか、を基準にしています。」という言葉でした。箱をふくだけの仕事でも数種類の仕事ができても工賃は同じ、その人が自分のできる事に精一杯取り組んでくれたらいい、というスタンスでした。収益が上がらないと事業所としても苦しいと思いますが、利用者さんの生活がより充実した物になるように、人生が豊かになるためにという考えで事業所の運営を行っていることを知ることができました。

責任者の方からは、「一人一人の目標は異なりますが、目標を持つことが大切です。アスプラスで働くこと自体が目標の方もいますし、お金を貯めて好きな物を買ったり旅行にいったりする事が目標の方もいます。その一人一人の目標を応援していきたいと思います。」とのことでした。今後は、収益を上げるために広い場所への移転、機器の増設、利用者さんの受け入れ拡大を考えているとのことでした。



【 見学を終えて 】

初めて事業所見学に参加しましたが、名護学院さんは施設も広く、利用者さんたちがリラックスし過ごしているのが印象的でした。また、利用者さんの実態や要望に応じて活動内容を変更したりと、自主性を重んじ、安心して活動、生活できる場であると感じました。北部地区においては、障害が重度である場合、卒業後の入所先を確保することがなかなか困難なことがありますが、名護学院さんの存在はひとつの安心感に繋がるのではと思います。

us plusさんは、名護学院さんと比べるとちんまりとした施設ではありますが、利用者さんの能力を100%発揮できるような場所にしたいということで、施設長さんの思いがぎっしり詰まった暖かい事業所さんでした。見学当日も職員さんだけでなく利用者さんもしっかり自分の役割を果たしながら働いている様子があり、とても活気のある事業所だなと感じました。

本校の児童生徒が卒業後、『働く場』『生活する場』『リラックスできる場』において、自分の能力を100%発揮したり地域の人々と楽しく交流したりできるよう、私たちも学校教育現場だけでなく、校外学習や実習等で取り組んでいきます。保護者の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

(中学部：松本、高等部：山城)